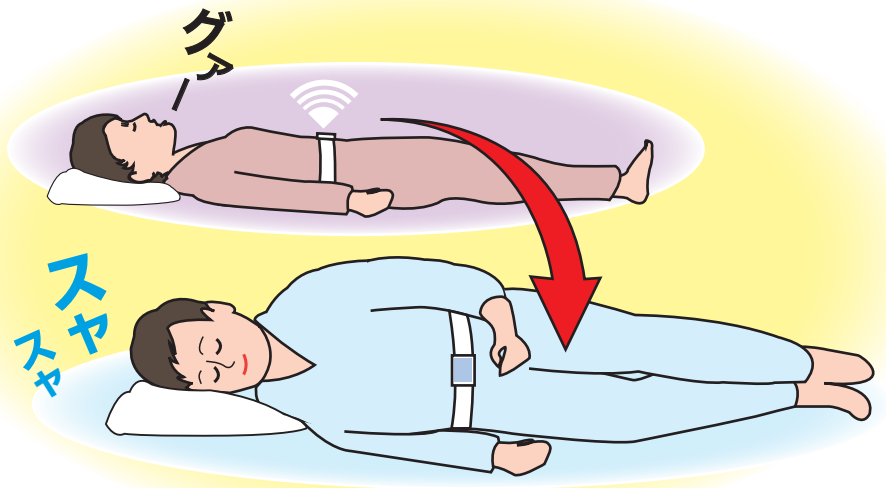


イビキ対策に、新しい発想の実用新案ベルト。簡単便利

横向きで寝ると、イビキは収まることに着目して開発しました。
「**横向きベルト**」を腰に巻いて寝れば
上向きで寝ていても、無意識に横向きになれます。

実用新案 取得済
新発売

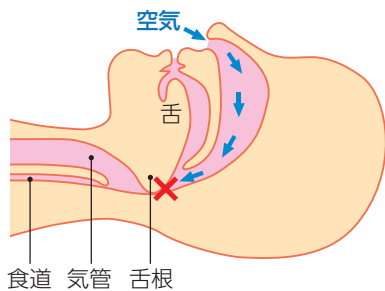


イビキは健康の赤信号

大きなイビキは、周りの人の眠りを妨げるだけでなく、呼吸が10秒間以上止まる《睡眠時無呼吸》や、スムーズに呼吸できないため血圧が上がったりする時になどに出る危険信号だといわれています。

●上向きで眠ると、舌根（舌の奥）が重力により気道（空気の通り道）

に落ち込みます。狭くなった気道を無理に空気が通るときに出る音がイビキです。【右図】



●横向きで眠ると、舌根が気道に落ち込まないため、スムーズに空気が通り、イビキが静まります。

これは、医師に広く知られていた事実です。※1

また、テレビで放映されるようになりました。※2

しかし、上向きで眠っている人を無意識に横向きで眠るよう促すのは簡単ではなく、長年の課題でした。

ヒトは眠っている時に軽い刺激を受けると、無意識のうちに寝返りを打ちます。この原理を応用して、横向きで眠るように促すことを可能にしたのが『横向きベルト』です。

横向きベルトは効果を実証済みです

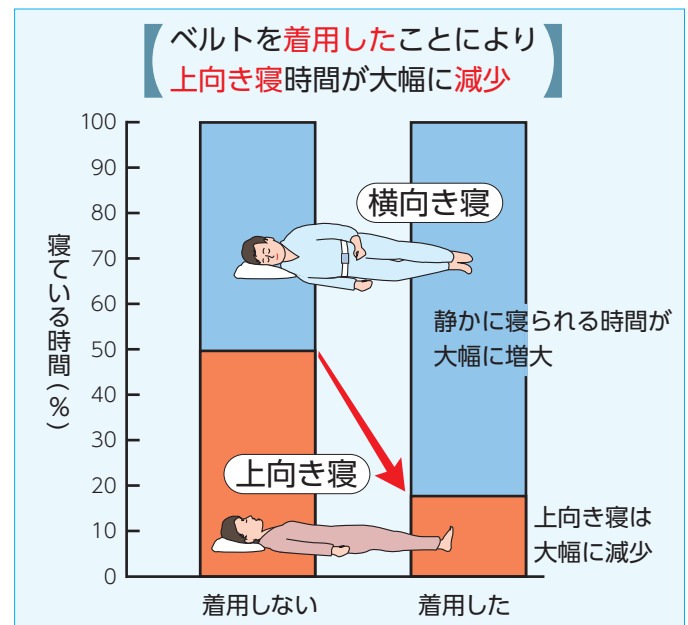
横向きベルトを着用して寝ると、イビキをかきやすい上向き寝が大幅に減少し、イビキがほとんど出ない横向き寝になりました。横向き寝にすることを証明した商品です。

◆実施施設：

駒ヶ嶺医院睡眠呼吸センター（東京都新宿区）

◆結果：

着用により上向きで寝た時間は、寝ている時間全体の17.7%になりました。残りの82.3%は、イビキをほとんどかかない姿勢です。



※1：循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン
※2：たけしの家庭の医学、2017年11月14日 テレビ朝日